

『とんとんとん、いれてください』 3歳児 1月 伏見こども園

エピソード

友達と同じ場で遊ぶことを楽しむようになり、戸外でも保育室でもお家ごっこを楽しむ姿が見られます。保育室では、ソフトブロックやキッチン台などを自分達で運んで家の囲いをつくっています。「扉はここに置こう」と決めた場所に置くとそこが玄関になり、入り口で靴を脱いでから家の中に入ります。子ども達に親しみのある扉を用いた家ができると、お話の世界を思い出し子ども達が「とんとんとん、入れてください」と言い、家の中にいた子が「いいですよ、どうぞ」と家の中に迎え入れます。扉の前は行列になり、迎え入れてくれる友達との言葉のやり取りをしたり、笑い合ったりして楽しんでいます。

子どもの育ちや学び

よいしょ、よいしょ



とんとんとん
入れてください



どうぞ



遊びの場に必要だと思うものを自分達で考えたり、運んだりしています。重かったり長かったりして一人では運べないものは「手伝って」と声を掛け、友達と一緒に運んで家を整えていきます。

「とんとんとん」と叩いてから家に入るということが共通になっています。また扉を開けた先に友達がいて、声が聞こえると「どうぞ」と優しい表情で迎え入れてくれています。対面で友達の表情を見たり、自分の言ったことに返してくれたりすることを喜び、友達との関わりを楽しんでいます。

保育者の思い

- ・どんな家にしたいか考え、必要だと思ったものを自分たちで用意する楽しさや、少しずつ家ができていく嬉しさを感じてほしい。
- ・重たいものを運んでいる友達を手伝おうとする優しさをもってほしい。
- ・言葉のやりとりを通して、友達と関わったり、受け入れてもらったりして遊ぶ楽しさを感じてほしい。

家庭だったら・・・

自分のしたいことを楽しむ中で、必要なものを持ってきたり、自分達で遊びの場をつくったりする姿が見られるようになってきました。「何があったらいいかな？」と一緒に考えると、頭の中の世界が広がるかもしれませんね。